



各位

平成 29 年 3 月 31 日

PCIホールディングス株式会社

(コード番号：3918 東証第一部)

グループ戦略本部グループ戦略室

PCIホールディングスグループ
神戸市 市バスの接近情報が確認できる
バスロケーションシステムのサービス開始のお知らせ

当社の連結子会社であるPCIソリューションズ株式会社（以下、「Pso1 社」）が実証事業主体として参画してまいりました神戸市における「市バスを情報通信基地とする実証実験（注1）」につき、神戸市交通局自動車部市バス運輸サービス課より「市バスの接近情報が確認できるバスロケーションシステムのサービス開始」の発表がありましたのでお知らせいたします。同サービスは、平成 29 年 4 月 1 日より神戸市交通局ホームページで公開、利用することができるようになります。

Pso1 社はこれまでの同実証実験において、通信制御技術をベースに車載通信機器「V2Xユニット（注2）」を活用したソフトウェア開発に携わってまいりました。今回のサービスでは市バスへ搭載された「V2Xユニット」の利用により通信ネットワークが構築され、利用者がバス停名や系統をスマートフォンやタブレット、パソコンから指定すると、① 目的のバスが現在どこにいるのか、② あと何分でバスが来るのか、③ 何分後に目的地に到着するのか等を確認できるようになります。詳細につきましては、同課発表資料『市バスの接近情報が確認できるバスロケーションシステムのサービス開始』をご覧ください。

Pso1 社は今後も引き続き「V2Xユニット」を活用したソフトウェア開発を通じ、更なるサービス強化に努めてまいります。

なお、今回のサービス展開に伴い Pso1 社では「V2Xユニット」導入に係るカスタマイズ収益や継続的な保守関連収益等が見込まれますが、当社の平成 29 年 9 月期連結業績に与える影響は軽微であります。

(注1) 市バスを情報通信基地とする実証実験

大規模災害時における緊急情報の伝達手段などへの展開を目的に、情報通信基地としての市バスの活用に関して実施された、バスロケーションシステムに係る第一弾の実証実験。バスロケーションシステムとは、無線やGPS等を利用してバスの位置情報を取得し、運行状況をモニターなどの媒体を通じて知らせることで、利用者のバス待ち時間の短縮などに寄与し、バスの利便性向上を図るシステム。

(注2) V2Xユニット

Wi-Fi を活用した高性能車載通信機。このユニットを用い、車車間や路車間での直接に相互通信を行う。クラウドを通さずに Wi-Fi 通信のみでクルマとクルマ、専用スマートフォンアプリを持った歩行者、道路インフラなどをリアルタイムでつなげることができるため、クルマが通信基地となり、移動することで情報を吸い上げながら受け渡すことが可能になる。また、災害発生時には地域に特化した避難情報などをエリア全体に素早く伝達させることも可能になる。Pso1 社は、そのソフトウェア開発において連携。

以 上

PCI グループは、「安心・安全・豊かな社会」の実現に向け、各種研究開発、エンベデッドシステム開発の豊かな実績で培った IoT 技術の応用により、新たなサービス領域へ積極的に挑戦します。

市バスの接近情報が確認できる バスロケーションシステムのサービス開始について

◆概要◆

神戸市交通局では、より快適に市バスをご利用いただけるよう、バスロケーションシステムのサービスを開始いたします。

スマートフォンやパソコンの専用ページで、ご利用になるバス停名や系統を指定することで、バスが現在どこにいるのか、そのバス停にあと何分でバスが来るのかをご確認いただけます。

◆サービス開始日・利用方法◆

平成 29 年 4 月 1 日より、神戸市交通局ホームページで公開いたします。

神戸市交通局ホームページ内の「市バスのページ」に、バスロケーションシステムのご利用ページへのリンクを掲載いたします。

提供開始日以降、スマートフォンやパソコンで、下記の URL に直接アクセスいただくか、QR コードを読み込むことでご覧いただけます。

《URL》 <http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/transport/bus/basuroke.html>

《QR コード》



◆問い合わせ先◆

交通局自動車部市バス運輸サービス課 TEL:078-322-5944（内線 6061）

◆参考（画面一例）◆

